

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政策目標 5 多様な暮らしが選べ、快適に暮らせるまちに
重点的取組 3 生活基盤施設を計画的につくり、長持ちさせる

担当課名		建設部 都市・建築局 住宅営繕課
予算科目目	会計	44 市営住宅事業特別会計
	款	01 市営住宅事業費
	項	01 市営住宅事業費
	目	02 住宅建設費

事業名	市営住宅建設事業	事業開始年度	平成 27 年度
	市営新宮原住宅建替事業	根拠法令 条例 個別計画 等	公営住宅法・廿日市市営住宅設置、整備及び管理条例・第二次廿日市市住宅整備基本計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	住宅に困窮する低所得の市民	主に昭和42年に建設された新宮原住宅（東側）を、高齢者や障がい者が使いやすい住宅として、平成30年度末までに新たに24戸を整備する。 また、新宮原住宅の完成に伴い、中小原住宅（昭和40年度建設ほか）の廃止を行う（統廃合）

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	・事業工程の管理、事業計画策定 ・交付金申請、業務委託料の支払い ・入居者等への説明・移転調整	・施工事業者 ・広島県	・設計業務、地質調査業務 等 ・交付金申請（県内一括申請）

3 平成 27 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

(1) 全体スケジュール

【平成27年度】設計（基本・解体設計）、地質調査

【平成28年度】設計（実施、中小原解体）、解体工事、家屋調査、移転補償及び家賃補助

【平成29年度】建設工事、工事監理、家賃補助

【平成30年度】戻り入居及び中小原からの転居（移転補償）、解体工事（中小原）

(2) 事業費関連（平成27年度）

【歳入】

社会資本整備総合交付金5,110 千円

一般会計繰入金6,247 千円

合計11,357 千円

【歳出】

設計業務（基本設計及び解体実施設計分）7,300 千円

地質調査業務4,057 千円

合計11,357 千円

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算	
財源内訳	直接事業費 A			11,357,000	
	国庫支出金			5,110,000	
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)				
	市（市税など）			6,247,000	
人件費(按分) B		人	人	1.50 人	
総事業費(A+B)				12,973,500	
単位 ト換算 コス	①人口（4月1日現在）	117,680 人	117,680 人	117,182 人	
	市民1人当たり			208	
	②				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H27目標値	備考
活動	老朽化した住宅の建替・統合	戸数	-	-	-	新規建設24戸
	(地質調査、基本設計、除却、建設等)					解体除却26戸
成果	整備率	%	-	-	-	地質調査、基本設計